

自然の博物館カード No.35

おおのほらひょうほん
パレオパラドキシア 大野原標本
 レア度☆☆☆☆☆



学名 *Paleoparadoxia tabatai*
 分類 束柱目パレオパラドキシア科
 分布 古秩父湾
 時代 新生代新第三紀中新世
 大きさ 体長約 2.5 m

(表)


自然の博物館カード No.35

おおのほらひょうほん
パレオパラドキシア 大野原標本

1972年に秩父市大野原で発見された
 パレオパラドキシアの全身骨格化石。
 パレオパラドキシアは約2300万年前
 から1200万年前までの間生きていた
 日本を代表するホ乳類化石。
 大野原標本は2016年3月に、国指定
 天然記念物になった。

ここがすごい!!

大野原標本と同じ種類の全身骨格は、
 世界で4体分しかみつかって
 いない。このうち2体が
 大野原標本と般若標本だ。



埼玉立 自然の博物館

(裏)

自然の博物館のオリジナルカード



ウルフ作<アrikui> (メイナク)

近代美術館 企画展「ブラジル先住民の椅子」